

令和7年度 学校関係者評価 ・ 第三者評価 報告書

奈良学園幼稚園

本年度も学校関係者評価・第三者評価の機会を次のように複数回設ける。

I 学校関係者評価・第三者評価委員会（幼小中高合同）

- ①令和7年11月28日（金） 10:00～12:00
- ②令和8年 2月26日（木） 9:00～10:30

II PTA関係者による学校関係者評価委員会（幼稚園）

- ①令和7年 6月12日（木） 10:30～12:00
- ②令和7年12月 1日（月） 10:00～12:00
- ③令和8年 2月24日（火） 10:00～11:30

それぞれにいただいた評価を次にまとめ、報告する。

I 学校関係者評価・第三者評価委員会

I-①

1. 学校関係者評価実施日 …令和7年11月28日（金） 10:00～12:10

はじめに当日の流れを確認した後、各校種の授業を参観いただき、その後、年間の取組状況について報告し、評価者よりご指導・ご助言をいただいた。

2. 評価者：前田 康二（奈良教育大学 教職大学院 教授）

3. 出席者：安井教育総括監、兼中学校・高等学校長、高塚小学校長、槇幼稚園園長 立花中学校教頭、日比小学校教頭、吉岡事務長 三笠高等学校教頭（司会）、山川小学校教頭（記録）

4. 評価結果

①各校種（幼稚園、小学校、中学校・高等学校）からの報告

全校種の定める中期計画をもとに重点取り組みを報告した。

(1) 幼稚園

○説明会・体験機会の充実等を通じて、保護者への情報提供および信頼関係の構築に努めている。加えて、未就園児とその家庭に向けた取組を継続し、園の魅力発信を強化している。

○基本的な生活習慣の定着や異年齢交流を通じて、社会性・協調性等の育成を図っている。

○マーチング、英語活動、伝統文化体験等、特色ある教育活動を展開し、表現力や感性の育成に取り組んでいる。運動面でも多様な活動を取り入れ、体力向上を図っている。

○教職員研修の充実、若手育成、園児の安全・安心に関わる取組（防災・配慮事項への対応等）を継続している。

(2) 小学校

- 内部進学制度の充実とあわせて、学校説明会等を通じた情報提供を継続し、広報活動の質的向上を図っている。
- 学習面では、表現力や論理的思考力の育成に重点を置き、授業改善や各種取組を進めている。
- 異学年交流や縦割り活動等を通じて、児童同士の関わりを深め、社会性・共感力の育成に取り組んでいる。
- ICTの活用や個別最適な学びの工夫等、時代に即した学びの在り方を継続して検討している。

(3) 中学校・高等学校

- 募集・広報活動の充実を図り、受験生・保護者に対する情報提供の機会を確保している。
- 授業改善・教員研修の取組として、授業交流や研究授業等を実施し、指導力向上を図っている。
- 学習支援の取組を継続し、生徒の学習習慣の形成や学力向上につながる支援体制の充実を図っている。
- 進路指導や大学等との連携を通じて、生徒の学習意欲・進路意識の向上を支援している。
- 探究学習では、連携活動や自由テーマでの探究等を通じて、思考力・協働力・コミュニケーション力等の育成に取り組んでいる。
- 幼・小・中・高の学びの系統性や発達の連続性を踏まえ、ルートマップの見直し等、教育課程の改善を進めている。

② 授業参観による所見

- いずれの校種においても、教師と子ども、子ども同士の関係性が良好で、安心して学べる学習環境が形成されていることが印象的であった。
- 幼稚園では、年齢発達に応じた活動が丁寧に組み立てられ、体験を通じた学びが展開されていた。
- 小学校では、教員と児童の双方向的なやり取りや、児童同士の意見交流が活発であった。
- 中学校では、ICTを活用しつつ、表現活動・発表活動と教員のフィードバックが効果的に組み合わせられていた。
- 全体として、ICT活用に偏りすぎず、「対話」や「つながり」を重視した教育が実践されている点を確認された。

③ 各校種の取組に関する助言（要旨）

- 12年間一貫教育の連携をさらに強化し、各段階の学びの接続をより具体的に示すことが望まれる。
- 授業を第三者に参観してもらい助言を得る機会を継続的に確保することで、授業改善と教員の指導力向上につながる。
- 各校において「学び」「体験」「生活」「社会との関係」をキーワードとした教育活動の質的向上と体系化を進めることが今後の課題である。

④ その他

今回は、令和8年3月5日（木）に、1年間の教育活動についてご意見をいただく方向で調整した。

I-②

1. 学校関係者評価実施日 …令和8年2月26日(木) 9:00~10:30

各校種から令和7年度の総括の報告を行い、その後、各校種の総括についてのご指導をいただいた。

2. 評価者：前田 康二 (奈良教育大学 教職大学院 教授)

3. 出席者：安井教育総括監、兼中学校・高等学校長、高塚小学校長、槇幼稚園園長

立花中学校教頭、吉岡事務長

三笠高等学校教頭(司会)、山川小学校教頭(記録)

4. 評価結果

①各校種(幼稚園、小学校、中学校・高等学校)からの報告

全校種の年度末分掌・委員会総括表をもとに今年度の取り組みや次年度に向けての課題を報告する。

幼 稚 園

- 【教務部】
- ・園内研究保育や各種研修を計画的に実施し、教職員の資質向上に努めた。外部研修の成果共有も進めた。
 - ・小・中・高と連携し、カリキュラムルートマップを改訂。学びの連続性の検証を進めている。
 - ・大学との共同研究を通して自然体験活動等を実施し、教育内容の充実を図った。
 - ・幼小連携を強化し、円滑な進学につながる取組を推進した。内部進学において一定の成果が見られた。
 - ・預かり保育の利用増加に対応し、内容や体制の充実を図った。

【総務部】

- ・絵本環境の整備を進め、日常保育における活用を促進した。

【保健部】

- ・基本的な生活習慣の定着に向けた指導を継続。保護者との連携体制を整えた。

【給食委員会】

- ・残食状況の把握と情報共有を行い、献立改善につなげた。

【広報部】

- ・体験入園や未就園児向け活動を充実させた。
- ・SNSや動画等の活用により情報発信方法の多様化を図った。

小 学 校

【教務部】

- ・内部進学対応等に関する業務の標準化を進め、指導体制の安定化を図った。

【生徒指導部】

- ・登下校班活動の充実により安全意識向上を図った。
- ・児童主体のルールづくりの機会を設け、自律的な規範意識の育成に努めた。
- ・公共マナーの継続的指導を課題とする。

【総務部】

- ・修了式の在り方を見直し、学年の成長を祝う温かな式として午前中開催へ変更した。
- ・中高との行事連携を推進した。

【研究研修部】

- ・全教員が研究授業を実施。夏季研修も実施した。
- ・次年度は外部講師を招いた専門研修を計画している。

【保健部】

- ・食育活動や残食調査等を実施し、食への関心向上を図った。

【広報部】

- ・説明会・体験行事を継続実施。デジタル広告や SNS 活用により認知度向上を図った。

【情報管理】

- ・生成 AI や ICT 活用に関する研修を実施。
- ・情報モラル・デジタルシティズンシップ教育の充実を進めている。

【総合（ユネスコ）】

- ・宿泊学習を軸に平和・環境・国際理解教育を推進。
- ・非認知能力の可視化にも取り組んだ。

【総合（キャリア）】

- ・キャリアパスポートを整理し、振り返り重視の形式へ改善。
- ・縦割り活動を通じて主体性を育成。

中学校・高等学校

【教務部】

- ・新カリキュラムの改善・改訂を実施。
- ・生徒アンケート結果では学校生活充実度が高水準を示した。
- ・自学自習環境の整備を進め、利用者増加につながった。

【進路指導部】

- ・進路講演会のオンライン化など参加機会を拡充。
- ・探究活動や外部コンテスト参加を支援し、実績向上につながった。

【生徒指導部】

- ・建学の精神に基づく指導を継続し、生徒の自律的行動を促した。

【総務部】

- ・式典・行事運営の改善を進めた。
- ・読書活動推進の全校的枠組みづくりを検討。

【広報部】

- ・説明会・個別見学会を実施。志願者数は前年度を上回った。
- ・WEB 媒体による広報活動を強化。

【保健部】

- ・支援・配慮を要する生徒への情報共有体制を強化。
- ・ケース会議や大学との連携を通じて支援体制を整えた。

【人権推進委員会】

- ・校内外研修を実施。人権作文活動を通して理解深化を図った。

【生徒会指導部】

- ・生徒主体の企画運営を推進。異学齢交流の活性化が見られた。

【国際交流部】

- ・ターム留学参加者が増加。研修先の充実を検討中。

【探究学習プロジェクト】

- ・課題解決型探究を推進。外部コンテストでの成果も見られた。

【巡回指導サポートチーム】

- ・巡回体制の強化により校内トラブル減少傾向。
- ・関係部署との定期的情報共有を実施。

【いじめ初期対応チーム】

- ・アンケート実施および組織的対応を継続。

②各校種の取り組みについてのご指導・ご意見等

- ・各校種とも年間総括が適切に行われている。
- ・校種間連携および研修体制は整備されている。
- ・教員研修では ICT・AI・特別支援・教科専門性に関するニーズが高い傾向がある。
- ・広報活動は「誰に何を伝えるか」という戦略的視点と、外部からの評価把握が重要である。
- ・ESD 分野での大学連携や国際的取組への参加を期待する。

■ 働き方に関する取組

働き方を独立した評価項目とはしていないが、各校で衛生委員会を実施し、産業医の助言やストレスチェックを活用するなど、教職員の健康管理体制を整備している。

③その他

来年度も前田先生に学校関係者評価・第三者評価委員会の委員としてご意見をいただける調整した。

Ⅱ PTA 関係者による学校関係者評価委員会

Ⅱ-①

1. 日 時 令和7年6月12日(木) 10:00~11:30
2. 開催場所 育友会館
3. 参加者

評価者名 川口優加子(登翔会会長)、水木真由子(高等学校副会長)、森脇珠里(中学校副会長)
佐々木雅代(小学校副会長)、大竹由里恵(幼稚園副会長)
藤村遼子・有光陽子(会計)、上田智里・今中真理子(書記)

学校園参加者

安井幸至(総括監兼中高校長)、高塚佳紀(小校長)、槇 康二(幼稚園長)、
三笠康之(高等学校教頭)、立花正幸(中学校教頭)、山川丈二(小学校教頭)
日比忍(小学校教頭) 吉岡伸幸(事務長)

4. 協議内容

① 学校関係者評価委員の委嘱

校園長より、登翔会本部役員に対し学校関係者評価委員の委嘱を行った。

② 学校運営に関する説明

今年度の各校園の中期計画をもとに、学校経営方針・重点目標・核となる取組について説明を行った。また、令和6年度学校自己評価書に基づき、これまでの取組と成果、今後の改善方策等について説明した。

【資料】

・奈良学園登美ヶ丘中学校・高等学校 中期計画

・奈良学園小学校 中期計画

・奈良学園幼稚園 中期計画

③ 学校関係者評価委員の依頼

校園長より、保護者会役員に対し学校関係者評価委員への就任依頼を行った。

④ 取組の進捗状況について

■ 奈良学園登美ヶ丘の「3+4-4-4 ルートマップ」の活用について

1学期に各校種でカリキュラムの見直しを行い、2学期には校種間をつなぐ形で教育課程部会を開催する予定である。幼稚園から中学校・高等学校までの学びのつながりを示すルートマップの完成を目指している。

■ ポロシャツの着用状況について

昨年度いただいたご意見を踏まえ導入したポロシャツについては、現在多くの児童・生徒が着用しており、生地やデザインについても概ね好評である。

⑤ 質疑応答・意見交換

質問① 男子用の半袖の上に羽織れる夏用カーディガンの導入状況について。

回答：現在、生地や仕様を含めて検討を進めている。

質問② 幼稚園の教育実習について、奈良学園大学以外の大学からの教育実習生の受け入れは可能か。

回答：時期や受け入れ人数によっては調整が必要となる場合もあるが、他大学からの教育実習生についても受け入れている。

質問③ 小学校高学年の算数の宿題について、難易度が高い問題が出題されている場合があるため、検討してほしい。

回答：宿題については、教科部会等を通して学年に応じた内容・分量・難易度を検討していく。また、児童が解けない場合にはヒントの提示や翌日の解説など、丁寧な対応を心がけていく。

質問④ 宿題の適切な分量と通塾の必要性について。

回答：宿題の分量については、児童の実態に応じて各学年で適切に調整している。通塾については各家

庭の判断によるが、小学校での学習を大切にに取り組むことで、中学校・高等学校進学後も良好な学習成果を上げている例も多く見られる。

質問⑤ 幼稚園における防犯対策について。

回答:施設の施設管理を徹底するとともに、防犯体制の強化についても今後検討を進めていく。

質問⑥ 幼稚園の専用駐車場の利用状況および送迎時のマナーについて。

回答:駐車場の利用については、在園児保護者に向けて案内を行っており、状況を確認しながら適切な対応を行っている。また、送迎時のマナーについても、配布文書等を通じて周知・啓発を行い、ルールの徹底に努めていく。

⑥ 委員からの主な意見

意見① 高校生の自転車通学時のヘルメット着用について、より一層の徹底を望む。

回答:ヘルメットの着用は自転車通学の条件として定めており、今後も安全指導の徹底を図っていく。

意見② 小学校における紺色ソックスと白ソックスの使い分けについて、分かりやすく示してほしい。

回答:生活のしおりに一定の基準を示しているが、行事によっては分かりにくい部分があるため、具体的な場面を明確にし、児童・保護者へ改めて周知していく。

意見③ 中学校・高等学校の椅子について、成長段階に応じて高さを調整できるものを検討してほしい。

回答:学年に応じて机・椅子のサイズ変更を行っている。姿勢保持は学習においても重要であるため、今後の更新時には高さ調整が可能な机・椅子の導入についても検討していく。

II-②

1. 学校関係者評価実施日 …令和7年12月1日(月) 10:00~12:00

はじめに、全学年の保育の様子をご覧いただき、PP1とP1の交流会の様子も参観いただいた。

その後、本園の今年度の取り組みに対するご意見を求めた。

2. 評価者 大竹由里恵、今中真理子(PTA関係者)

3. 評価結果

【参観の様子から】

○子どもたちが生き生きと活動している様子を見て、嬉しかった。

【運動会等行事について】

○運動会については、保護者参加の種目が加わったが、スムーズに運んでプログラム数についても問題なかった。実施前はいろいろと心配したが、それぞれが早く進行してうまくいった。ボランティアについては、「写真が撮りたい」という方が多いので希望者が少ない。学級委員さんは「最初からやと思っていたので、いやとかしんどいとかは思わなかった。」と言っておられた。子どもとかかわりがもてたことは良かったと思っている。

○ハロウィンパーティーなど、小中高と互いの良い思い出になる行事があるのは良いと思う。今年度のハロウィンパーティーでは、卒園児がいない学級(高校生)だったので、できれば卒園児がいる

クラスを選んでほしいという要望があった。

- マーチングフェスティバルがなくなったことを淋しいと感じておられる保護者はおられるが、秋の良い季節に、近隣公園に行ったりしてのびのびと子どもたちが遊んでいる様子を見ると、今しかできないことができていると感じた。自由参観日もゆっくり見ることができた。
- マラソン大会がなぜなくなったのか。見てみたいという気持ちはある。

【その他】

- 「主体性を育てる」取組として、自分の好きなカテゴリー（例えば昆虫、花、果物、乗り物など）に分かれて、3学年一緒に自分たちでやりたいことを教え合ったりしても面白いのではないかと
- 年長組が5月以降2学級一緒に過ごしている様子について、特に困ったことはなく、大人数での生活が小学校に上がる前になじめたという点でも良かった。特に女の子は、年中組までは4人1クラスで人間関係の難しさもあったが、今はとても楽しそうに一緒に遊ぶことができています。
- 説明会の際に、内部進学をした卒園生の声を紹介してはどうか。直接来てはもらえないので、動画等で。子どもからの話は、一生懸命な様子が伝わって保護者にも入ってきやすいと思う。
- 育友会館の掲示板に、小学校体験などのチラシやポスターを掲示してはどうか。幼稚園の保護者へのPRになると思う。
- いちご組が育友会に入っていない現状について、年少組と同じだけ登園している形になったのだから、育友会に入会してもらうことも検討してみてもどうかという意見が出ている。
- 育友会館の使い方について、保護者に対しルールの徹底をしてほしいという要望が出ている。

II-③

1. 学校関係者評価実施日 令和8年2月24日（火） 10:00～11:30

2学期保護者アンケート結果考察等をもとに、本園の今年度の取り組みに対するご意見を求めた。時間の途中で小学校体育館に出向き、PP3とP3の交流会の様子を参観いただいた。

2. 評価者 大竹由里恵、今中真理子（PTA関係者）

3. 評価結果

【参観の様子から】

- 2学期はPP1とP1の交流、3学期はPP2とP2の交流を参観することができてうれしかった。一般の方はこのような活動を参観する機会がないので、子どもの素の様子が見られて、また小学生のがんばる姿も見られるので、他の方も参観ができると嬉しいのではないかと感じた。

【きらきら発表会の取組について】

- きらきら発表会の姿を見て感動した。子どもたちが一生懸命演じる姿、先生方の指導や準備に感謝している。3学期に入ると、降園後に先生方が大道具などを毎日一生懸命作っておられる様子も拝見している。

【その他の行事について】

- 運動会の日について、以前は小学校の授業がある日だったので、親もゆっくり見ることができた。今年度のようにお休みの日に開催されるのは、小学生もいる保護者としては対応が難しい。
- お誕生日会の持ち方について、園長先生がお話をされる機会があるのは良い事だと思う。保護者に対する質問（教室での質問の時間も含む）については、保護者が答えやすいような内容にしていた

だか、あらかじめどんな質問をされるか教えておいていただけるとありがたい。

- 授業体験を参観できるのは良い機会であると思う。小学校の先生による「子育てセミナー」は自分達も聞きたいと思った。年中組に限定せず、広く全保護者を対象とした機会を作っていただけの方がうれしい。また、小学校の先生だけでなく、中高の先生にも教えていただく機会があると良いのではないかという意見もいただいている。

【学校アンケートの回答内容について】

- 「幼稚園は、園児の心身の健康状態の把握と健康管理に努めている」の項目について、学級閉鎖の場合、事前に感染状況が伝わってこないまま事後報告のような形で突然保護者が知ることになりがちと感じる。過剰に警戒感を与えすぎない範囲で、感染状況を事前に知らせていただけると、保護者も身構えておくことができるのだが。
- 「小学校との連携」の項目については、子どもの交流に対する評価だけではないように思う。今回、きらきら発表会の年長組開始時間を、小学校の下校時間に合わせて変更していただいたが、小学校との連携にはそのような意味合いも含んで答えておられるのだと思う。行事等について今後もご配慮いただけることを望んでいる。

【その他】

- 「小さな生き物かるた」の取組を聞いて、卒園式でいただけるのが楽しみになった。
- コールとホワイトボードでの情報が、完全に一致していないことがある。同じ内容の情報提供をお願いしたい。